

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

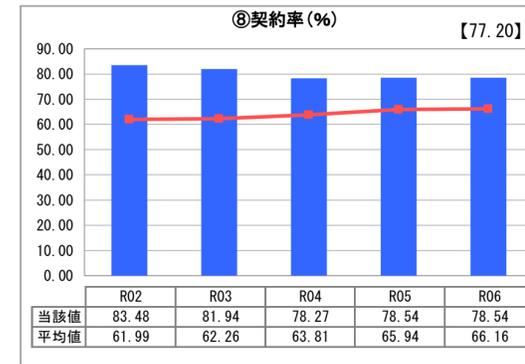
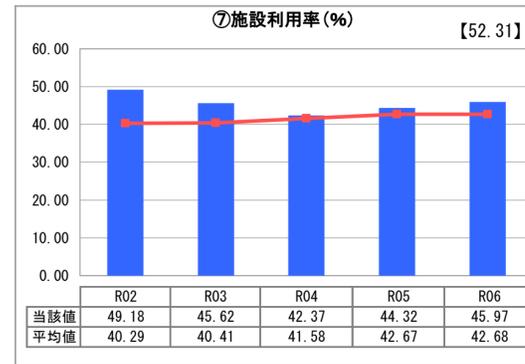
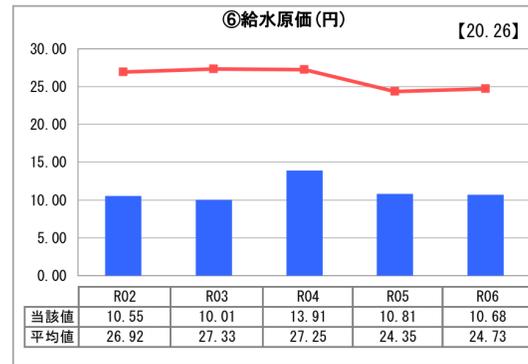
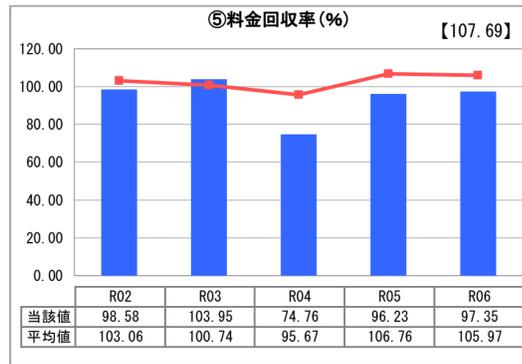
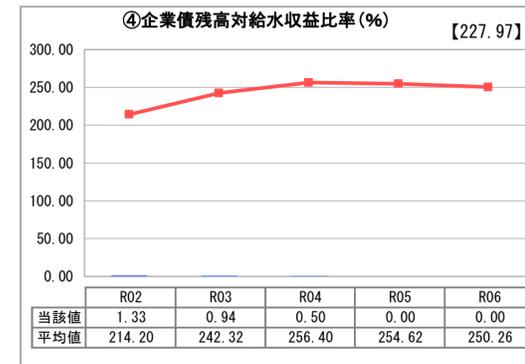
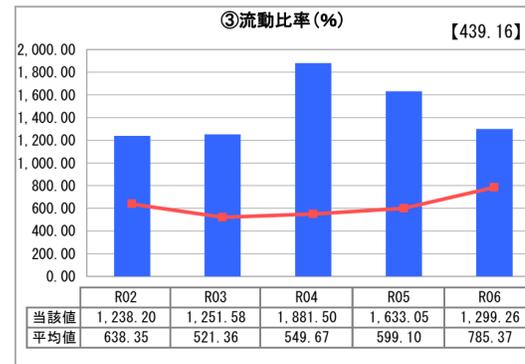
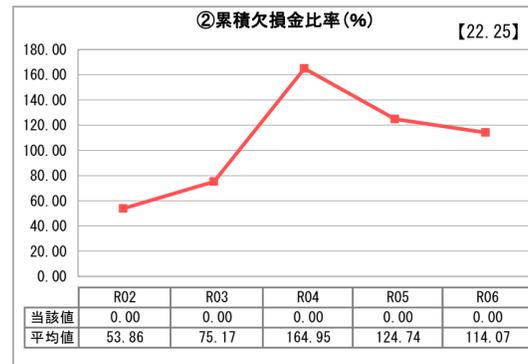
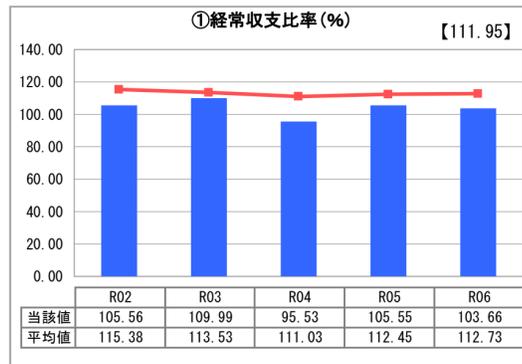
宮崎県

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	125,000	中規模	1	57,468
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	51.9	16	98,180	自治体職員	

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率
 ・比率は前年度より減少したが、100%を上回っている。
 ・主な減少要因は、営業外雑収益が減となり経常収益が減少したことである。

流動比率
 ・比率は100%以上であり、引き続き健全な状態である。

企業債残高対給水収益比率
 ・企業債については新たな借入れを行っていない。

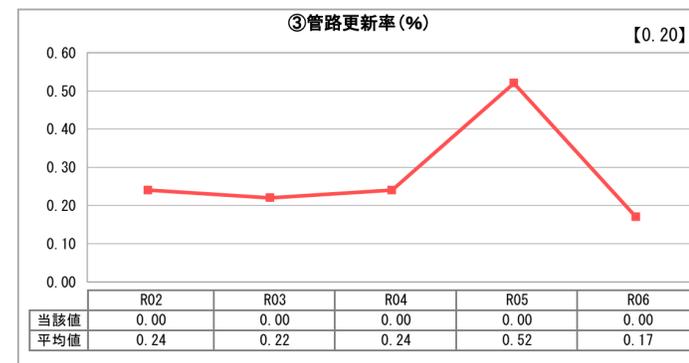
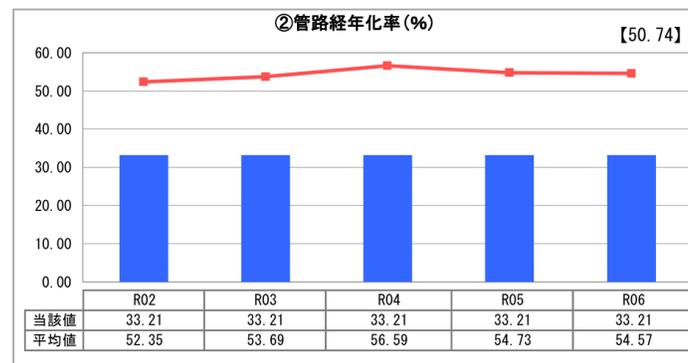
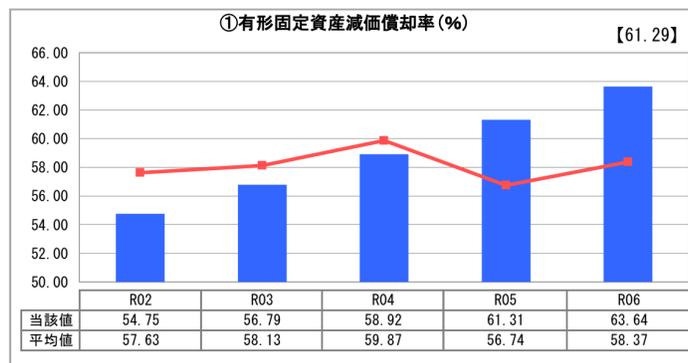
料金回収率
 ・回収率は前年度より増加したが、100%を下回っている。
 ・主な増加要因は、経常費用の減により給水原価が減少したことである。

施設利用率及び契約率
 ・いずれも類似団体平均値と比較して高くなっている。
 ・今後も効率的な給水に努め、ユーザーからの給水量の増量要望などに円滑に対応していく。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管路経年化率
 ・償却率は前年度より増加し、類似団体平均値と比較して高い。
 ・管路経年化率は直近の5年間は一定であり、類似団体平均値と比較して低くなっている。
 ・現在アセットマネジメント計画の見直し作業を行っており、引き続き計画的な設備の更新等を検討していく。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性について、経常収支比率は前年度より減少しているが、100%を上回っており経営状況は安定している。
 老朽化の状況について、建設後相当の年数を経過した設備もあるため、設備の状況を的確に把握しながら更新等を行っていく必要がある。
 令和2年3月に策定（令和7年7月改定）した経営戦略である「宮崎県企業局経営ビジョン」に基づき、引き続き、健全経営を維持しながら、本県の産業経済の振興と住民福祉の増進を図っていく。